

## 2025年度事業実績報告書

令和8年4月30日

愛媛県議会議員 松尾和久 様

議員氏名 菅 森実



主な政務活動の実施状況について、次のとおり報告します。

### ① 女性の貧困課題解決

2020年日本国内で新型コロナウイルス感染者が確認され、5年以上が経過した。2023年5月8日いわゆる2類から5類へ位置づけが移行し、観光関連・飲食等はインバウンド効果含めて回復の兆しを見せたが、若年世代から高齢期を迎えるまで非正規雇用労働の立場に置かれている女性の賃金労働条件等の改善がなされていない日本社会の課題は、改善がはかられていないままである。

続く物価高・光熱水費の高騰等が家計を直撃し、生活困窮に陥っている人の数は増えている。シングルマザーの中でも若年女性が子どもをつれて自殺するケースや、支援が「ひとり親」を軸につくられていることで、経済支援がないと暮らせないふたり親へ行き届かないケースなど、複雑化しており対策が急がれる。

また、国や県・市町が講じる施策情報が、当事者へ行き届く体制も必要。デジタル化の進展に伴い、以前より情報伝達速度は早まったものの、困った住民が気軽に相談出来、行政と繋がり救済の情報を得られる様、必要な人へ情報が届く環境づくりを継続して行うことや、ワンストップで行うこと等、具体的な取り組みが急がれる。

それから、過疎化した地域では数少ない医療機関の中でも、産婦人科が少なく「産みたくても産めない」ことが、都市部への人口集中にも繋がっている。

加えて、公務員の人員配置にゆとりを持たせ非常時に対応していくことは、地域住民の命を守ることに繋がる。減ることのない自然災害対応等にも同様のことが言える。

### ② 文化の根付く愛媛県づくり

愛媛県内にある歴史が刻まれた文化財を格上げし、日本国内外から訪れて頂く地に、その波及効果を地域へもたらすことを目指し、調査研究した。